

2020年度MFJスーパーモト委員会（書面審議）

議事録ダイジェスト版

本年度のスーパーモト委員会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面審議にて行われた。

A. 審議依頼事項

1. 2020全日本スーパーモト選手権シリーズ ランキング報告

事務局より2020年度全日本スーパーモト選手権シリーズ全4戦終了のポイントランキングが報告され、承認された。

2. スーパーモト規則改定について

(1) 赤旗中断後再レースとなった場合のレース結果について

全日本第1戦にて、「レース距離50%未満で、赤旗中断後の再レースがあった場合の最終リザルトの出し方について、再レースのみの順位を最終結果とする」と解釈し申し送りしたが、赤旗中断再レースとなった場合のリザルトの出し方について、赤旗が提示される前のレースの状況を考慮して公平性を確保するため、ロードレース競技規則に合わせて、下記の通り、規則を改定することが事務局より提案され審議された。

★規則改定案 【スーパーモト競技規則28-1-8】を新たに追記

28 赤旗中断されたレースの再スタート

28-1-8 レースの最終結果は、複数のレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合、最終レースの順位が優先される。

◎審議結果：全会一致で上記スーパーモト競技規則28-1-8改定が承認された。

○補足意見等：

- (1) ロードレースの場合には赤旗の原因ライダーにはペナルティが有る。同様に、原因となったライダーは再レーススタート時には最後尾のペナルティが有っても良いと思う。

(2) ポイントスケールの改定について(全種目統一)※11/19提案内容一部変更

モーターサイクルスポーツのメジャー化を目指す施策の一環として、外部にわかりやすいルールに整備するためMFJが管轄する全ての種目に対し、統一適用する（他種目と共通のポイントスケールを採用する）提案が事務局よりなされ審議された。

<従来のスーパーモトのポイント（全日本/エリア）【競技規則32-2】>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位
20	17	15	13	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- ・ 予選出走台数1台以下は不成立とする。
- ・ 得点は、完走者のみに与えられる。



★規則改定案(2021年から全種目統一) …1位25ポイント~15位まで付与されるように変更
 【スーパーモト競技規則 32-2】 得点
 得点は、下記のポイントが与えられる。

1位	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
25p	20	16	13	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- ◎決勝出走台数が2台以上(1台以下は不成立)とする。
- ◎完走者のみにポイントが与えられる。
- ◎ボーナスポイント対象大会は+3ポイント加算する。

◎審議結果： 全会一致で上記のポイントスケール改定が承認された。

(3) 年間指定ゼッケンの希望ゼッケン申請の廃止について(全種目)

◎観客視点で、誰が速いのかわかりやすくするため、2021年より、希望ゼッケンを廃止し、当該クラスの前年シリーズランキング順に年間指定ゼッケンを付与することが事務局より提案された。

★規則改定案

【スーパーモト競技規則 32-7】 全日本選手権指定ゼッケン
 前年度全日本選手権スーパーモト選手権の当該クラスのシリーズランキング順によって指定ゼッケンが与えられる。~~指定ゼッケン有資格者が他のゼッケンを希望する場合は、指定ゼッケン変更申請をしなければならない。ただし、他の選手の指定ゼッケンAの変更はできない。~~ ←赤字削除

◎審議結果： 全会一致で上記スーパーモト競技規則 32-7 の改定が承認された。

(4) ライセンス特別昇格規則の改定について【事務局提案】

<現行の特別昇格について>

各種目において「自動昇格および申請昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。」(11月1日以降の競技会で得たポイントも考慮)とされている。

しかし、現行の運用においては、基準が曖昧である、ポイント制度を採用しているため選手権シリーズの最終結果を重んじるべきである、等々の運用面の改善意見もあり、事務局にて改めて特別昇格の在り方について検討した結果、選手権シリーズの昇格基準(自動、申請)以外での特別昇格者を無くし、平準化を図ること、および、世界選手権参戦等の理由により該当クラスに適合しないと委員会が判断する選手に限り、指名により特別昇格を認める形に改定する提案がなされ、審議された。

★規則改定案 (2021年度より適用)

…従来の特別昇格制度は廃止し、新に下記の内容にて特別昇格・降格規則とする。

特別昇降格

- 各種目委員会より指名された者は、昇降格が義務付けられる。
- 降格を希望する者は11月1日から12月15日までにMFJへ申請する。審議結果は後日通知される。

◎審議結果： 全会一致で従来の特別昇格制度の廃止と新たな特別昇降格規則の追加が承認された。

B. 報告事項

1. 2020年度全日本スーパーモト選手権・エリア選手権開催状況報告

(1) 「2020年度全日本スーパーモト選手権シリーズ 開催状況表」が事務局より提出された。

全日本選手権は、新型コロナウイルスの影響を受け、当初7戦開催予定だったが、6月に開催日程調整を行い、全4戦が開催された。なお、開催数減少対策の特例として、S1OPENクラスはSUGO、HSRの2大会で決勝2レース制が採用された。

エントリー台数は、1大会平均でS1PROが前年比83%と減少、S1OPEN 113%、S2109%と増加した。

観客数は第1戦のSUGO大会は全日本ロードレースと同日開催で増加、他の大会も微増であった。

(2) 「2020年度スーパーモトエリア選手権シリーズ 開催状況表」が事務局より提出された。

エリア選手権も全日本併催日程で、各エリア2レースずつが行われた。

今年からMFJ公認でない車両の参加が認められ参加増加が見込まれたが全体としては横ばいであった。(詳細後記)

- ・ 東日本 SUGOにて1DAY2レース開催。エントリーはS1OPEN,S2が横ばいS3が前年比80%。
- ・ 中日本 名阪、美浜にて各1レース開催。S2クラスは増加したS1OPENが
- ・ 西日本 HSRにて1DAY2レース開催。S2,S3の減少傾向が顕著であり対策が必要。

2. 2020年度MFJライセンス取得者報告

「2020ライセンス発行状況比較(10月末現在)」が事務局より提出された。

スーパーモトA級 169枚、B級 93枚で合計262枚のライセンスが発行され、前年対比は89%となった。

内訳は新規が増加し、継続が減少傾向である

3. 2020 エリア選手権 ライセンスライセンス申請昇格者(B→A)報告

「2020SMライセンス申請昇格対象者」および各エリアランキングが事務局より提出された。

- ・ 東日本エリア S1 OPEN 森田 嵐 S2 西村 智人 S3 濱田 康孝
- ・ 中日本エリア S1 OPEN 森田 嵐 S2 藤田 友貴 S3 呉本 朝也
- ・ 西日本エリア S1 OPEN 森田 嵐 S2 麻生 和暉 S3 (該当なし)

4. 2020年度施策と継続審議事項

(1) 全日本 決勝2レース制について

<2020 全日本スーパーモトのレースフォーマット>

S1PRO (決勝 2 レース) : 計時予選→ 決勝 1 → 決勝 2
 S2 (決勝 2 レース) : 計時予選→ 決勝 1 → 決勝 2
 S1OPEN (決勝 1 レース) : 計時予選→ 予選ヒートレース → 決勝 ※実績は 2 レース制を 2 大会開催

- 参加台数増加を目的として決勝 2 レース実施した S2 クラスの状況
 - ・ 新たに決勝 2 レース制としたが、他のクラスから乗り換えて参加したライダーも各大会 2, 3 台見受けられたものの参加台数としては昨年からはほぼ横ばいであった。
 - ・ S1OPEN がコロナによる大会数減少対策の特例で 2 大会を 2 レース制で開催したことや、コロナ要因による 250cc 車両に乗り換えがしづらい現在の環境も考えられる
- S1OPEN クラスのフォーマットについて
 - ・ 選手の一部から他クラスと合わせて決勝 2 レース制にしてほしい声や、ヒートレースの意義を問う声も聞かれている。
 - ・ 一方で、台数が増えた場合に、計時予選のみで予選落ちのライダーが出るのが納得できるのか？（現在は参加台数が少ないため、ヒートレースをやめて決勝 1 にしてしまうことが可能）
 - ※ 今年度最終戦では 4 台が予選落ちとなったが、その 4 名全員が「嘆願書を出せば決勝を出走できるのか？」と問い合わせしてきた経緯があるため。

★2021 年シーズンも現在のレースフォーマットを維持し、参加動向を再検証することが確認された。

また、ヒートレースの方法は、規則上は公式通知にて定めるとされているが、例えば、計時予選結果の上位者の決勝進出が担保される、または 10 位以下の選手のみで決勝グリッドを争うなどの趣向を検討する。

(2) エリア選手権参加車両における「MFJ 公認ではない車両」の参加状況報告

2020 年よりエリア選手権の参加車両は「公認有無を問わない」と規則を緩和したことにより、各大会において、MFJ 公認でない車両でのエントリーが増加した。

<2020 年度エリア選手権における公認でない車両の参加状況>

大会	参加台数	公認無台数	公認無車両
東日本 第 1 戦	23	2	OP: YAMAHA WR-400 S3: YAMAHA TRICKER
西日本 第 1 戦	8	1	OP: BETA RR250(2st)
中日本 第 1 戦	20	7	OP: SUZUKI RMX250S BETA RR250 S2: WR250R('10) WR250X('08) SUZUKI 250SB S3: CR85R2 x 2 台
中日本 第 2 戦	21	5	OP: CRF450('09) S2: WR250R('10) WR250X('07) WR250X('08)

			SUZUKI 250SB
--	--	--	--------------



★2021年もエリア選手権は、MFJ公認は問わないことを告知強化し参加台数増加を図ることが確認された。

5. 2021 スーパーモトレースカレンダー

下記の日程にて調整中であることが報告され、決定し次第後日報告することが確認された。

- 2021 全日本スーパーモト選手権日程 ※11/13 現在
 - 5月16日 HSR九州
 - 6月調整中 エビスサーキット
 - 8月15日 スポーツランド SUGO
 - S M J 開催大会は調整中
- 2021 スーパーモトエリア選手権日程
 - ※各エリア最低3レースで調整の方向

以上